

平成 30 年度

視察等の届出・報告書

(届出番号 17~19)


平成 30 年度 視察等の届出・報告書 (17~19)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
17	11/14~15	小田康文	大月説子・庄司史 郎・竹原茂三・谷 本彰良	栃木県宇都宮市(第 13 回全国市議会議長会 研究フォーラム)

様式第1号

平成30年11月 9日

真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 小 田 康 文 印

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先 11月14日 宇都宮市文化会館
11月15日 宇都宮市文化会館

栃木県宇都宮市明保野町 7-66

3 内 容 第13回全国市議会議長会研究フォーラムに参加

テーマ：地方議会は住民の意向を酌み取り、執行機関に対する監視や政策提言等を行うといった、議会本来の役割に対する住民からの信頼を高めるために、議会を多様な価値観や意見を持つ住民に身近なものにする取組をこれまで以上に行っていく必要がある。講師の活発な意見に傾聴し議会改革の礎とする。

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

参加議員名簿

森真会

小田康文、庄司史郎、大月説子、竹原茂三、谷本彰良



視察研修 1 日目

平成30年11月14日

出発/到着		日付	時刻	交通機関	フライト番号ほか	出発地 到着地	備考
出発		2018年11月14日	5:15	クハム		真庭市	落合総合センター駐車場
到着			6:20			岡山空港	
出発		2018年11月14日	7:10	ANA	NH652	岡山空港	
到着		2018年11月14日	8:25			東京 (羽田)	
出発		2018年11月14日	8:52	京急	エアポート急行	羽田空港国内線 ターミナル	
到着		2018年11月14日	9:15			品川駅	
出発		2018年11月14日	9:25	JR	山手線	品川駅	
到着		2018年11月14日	9:34			東京駅	
出発		2018年11月14日	10:12	JR	やまびこ207号	東京駅	
到着		2018年11月14日	11:05			宇都宮駅	
		2018年11月14日	13:00		第13回全国市議会議長会	宇都宮文化会館	栃木県宇都宮市明保野町7-66
		2018年11月14日	16:50		研究フォーラム in 宇都宮に参加		
		2018年11月14日	18:00		意見交換会に参加	宇都宮グランドホテル	栃木県宇都宮市西原町142
		2018年11月14日	19:00				
		2018年11月14日	19:20		宿泊先にチェックイン	リッチモンドホテル宇都宮駅前	栃木県宇都宮市駅前通り3-5-12

森真会
視察研修旅行 2日目
平成30年11月15日

出発/到着	日付	時刻	交通機関	フライト番号ほか	出発地 到着地	備考
出発	2018年11月15日	8:20	バス		宇都宮駅	
到着	2018年11月15日	8:35			宇都宮文化会館	栃木県宇都宮市明保野町7-66
	2018年11月15日	9:00		第13回全国市議会議長会	宇都宮文化会館	栃木県宇都宮市明保野町7-66
	2018年11月15日	11:00		研究フォーラム in 宇都宮に参加		
出発	2018年11月15日	11:30	クルマ	宇都宮市周辺を現地視察	宇都宮駅	
到着	2018年11月15日	16:15			宇都宮駅	
出発	2018年11月15日	16:34	JR	やまびこ50号	宇都宮駅	
到着	2018年11月15日	17:24			東京駅	
出発	2018年11月15日	17:37	JR	山手線	東京駅	
到着	2018年11月15日	17:49			品川駅	
出発	2018年11月15日	18:02	京急	エアポート急行	品川駅	
到着	2018年11月15日	18:25			羽田空港国内線 ターミナル	
出発	2018年11月15日	20:10	ANA	NH659	東京(羽田)	
到着	2018年11月15日	21:30			岡山空港	
出発	2018年11月15日	21:40	クルマ		岡山空港	
到着	2018年11月15日	22:40			真庭市	落合総合センター駐車場








様式第2号

報告書

平成 30年 12月 29日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 小田 康文 
 竹原 茂三 
 庄司 史郎 
 谷本 彰彦 
 大月 説子 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成 30年 11月 14日 (午前・ <u>午後</u>) 13 時00分
		至 平成 30年 11月 15日 (<u>午前</u> ・午後) 11 時00分
2	場 所	宇都宮市文化会館
3	用 件	第13回全国市議会議長会研究フォーラム
4	概 要	第1日目 11月14日 (水) 会場：宇都宮文化会館 13:00 開会式 全国市議会会長 山田 一仁氏 (札幌市議会議長) 宇都宮市議会議長 小林 紀夫氏



宇都宮市長 佐藤 栄一氏

13:20 第I部 基調講演 「地域共生社会」をどうつくるか

2040年を超える自治体のかたち

中央大学法学部教授 宮本 太郎氏

14:20 休憩

14:40 第2部 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」

コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長主任研究員

パネリスト 今井 照 公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員

本田 節 有限会社ひまわり亭代表取締役

食・農・人総合研究所リョウキンカの郷

神田 誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者

小林 紀夫 宇都宮市議会議長

16:40 次期開催地挨拶 香川県観音寺市、さぬき市、他

18:00 第3部意見交換会

第2日目 11月15日(木) 会場:宇都宮文化会館

9:00 第4部 課題討議 「議会と住民の関係について」

コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長主任研究員

事例報告者 桑田 鉄男 久慈市議会副議長

伊藤健太郎 新潟市議会議員

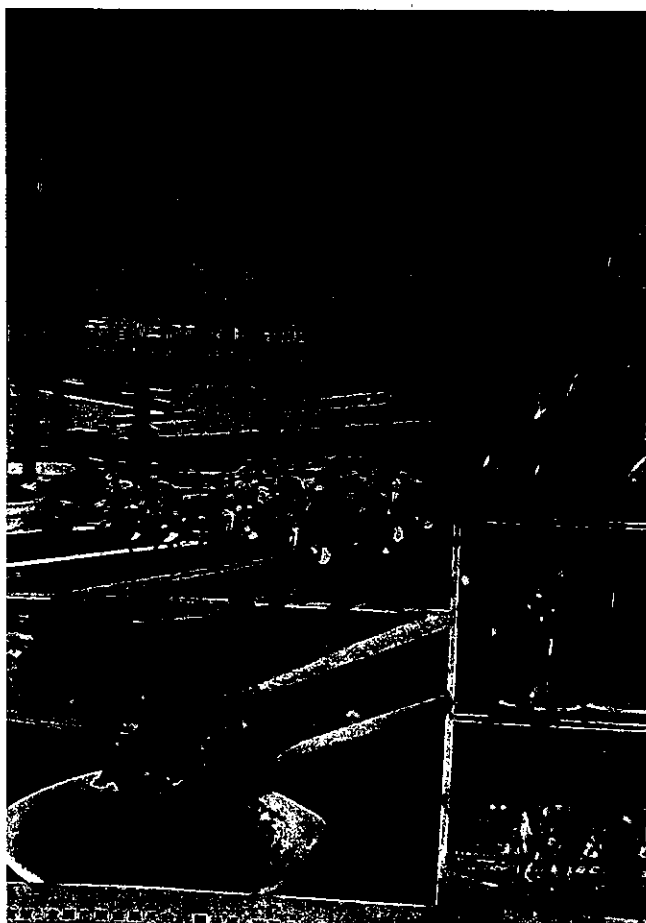
(新潟市議会主権者教育推進プロジェクトリーダー)

ピアンキアンソニー 犬山市議会議長

道法 知江 竹原市議会議長

11:00 閉会式

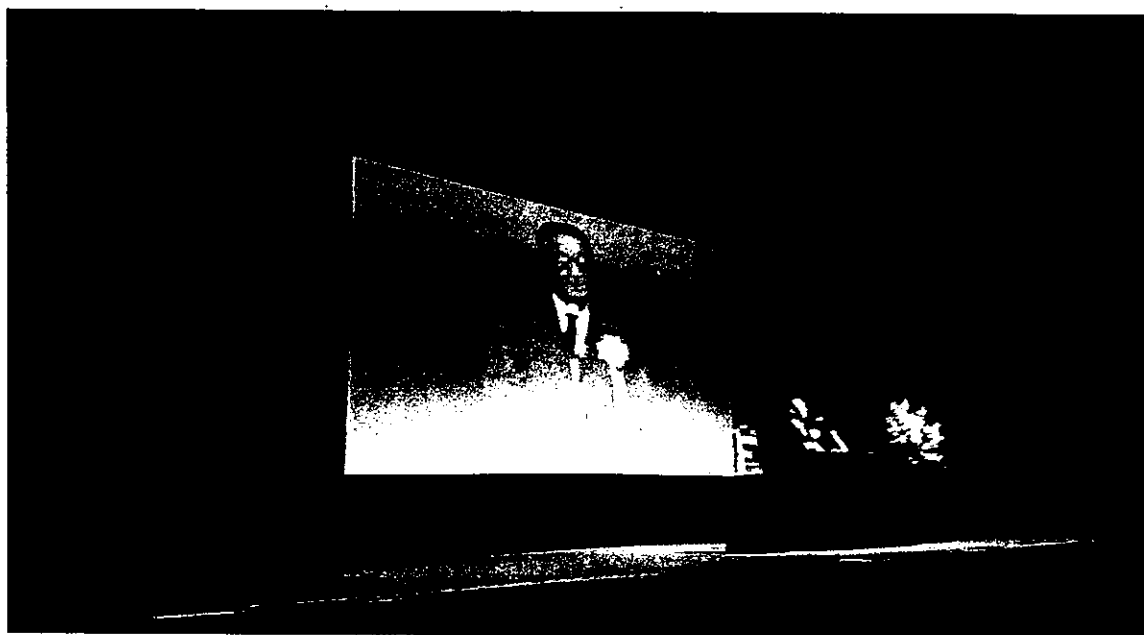
11:30 第5部 視察



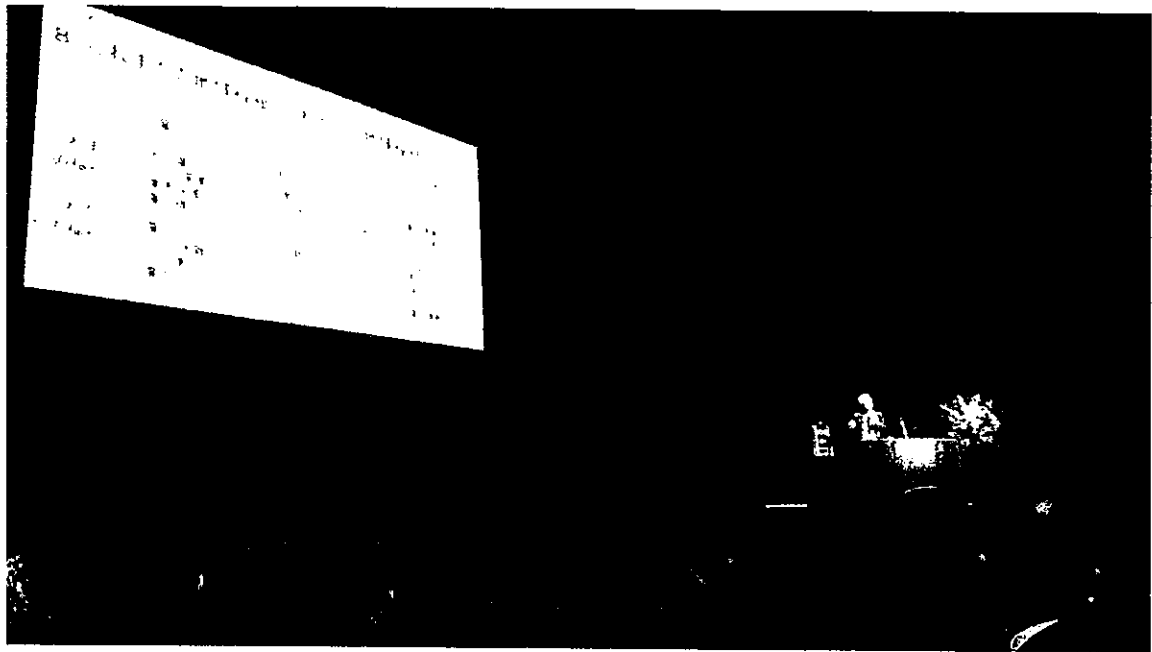
第13回全国市議会議長会研究フォーラムが宇都宮市で開催され、森真会会派5名で参加しました。

宇都宮市は、競輪やバスケットを中心としたスポーツも盛んな町である。食べ物では、特に餃子が有名で、宇都宮駅を出ると餃子店が多数あり、業例ができるお店も有りました。

朝一番の飛行機で出発し、翌日最終の飛行機で、少々ハードスケジュールでしたが、議会制民主主義による住民自治の実現のために議会改革に取り組んでいく必要性を再確認することができました。



全国市議会議長会会長で札幌市議会議長の開会のあいさつで、本フォーラムが開会となりました。2300人を超える参加者が有り、真庭市からも市長、長尾議長、福島副議長など15名が参加しました。



「地域共生世界をどう作るか」を聴講して
講師：中央大学 法学部教授 宮本太郎氏

現在の日本社会は次の様相を示している。

- 1) 幸福感が広まらない
- 2) 就職氷河期世代がそのまま高齢化し、困窮化する恐れ
- 3) 年金収入はマクロ経済スライドにより3割減となった
現役世代は十人で一人を支える時代から一人で二人を支える時代になる
- 4) 現在 65 歳以上の生活保護受給者は 85 万人居るがこのままでは 2040 年には 200 万人に
高齢単身女性がそうになってしまう心配がある
- 5) 現役世代が力を発揮しにくい時代である
奨学金借り入れ平均額は 312 万円
30 代男性の正規雇用者の未婚率は 30.7% であるが、非正規雇用者は 75.6% である
- 6) 人口減少の中身は、1967 年に人口が一億人を超えて、2053 年に人口が一億人を切る
- 7) 漏斗型する日本 若者は仕事を求めて東京へ流出する
東京の人口は 2015 年の 1351 万人から 2040 年には 1376 万人に増える
しかし急速に高齢化していき、少子化の進行によりいびつな年齢構成になる

このような状況下でピンチをチャンスにする仕組みづくりが出来るか出来ないかで地方は変わってくる。

- 1) 社会的弱者を保護する福祉から皆を元気にする縦割りを超えた包括支援と活躍の場作り
これが出来るか出来ないかが大事である。
- 2) 昔は地元で雇用の場があり、地元にお金が落ちる仕組みがあった。これが地域を支えていた。

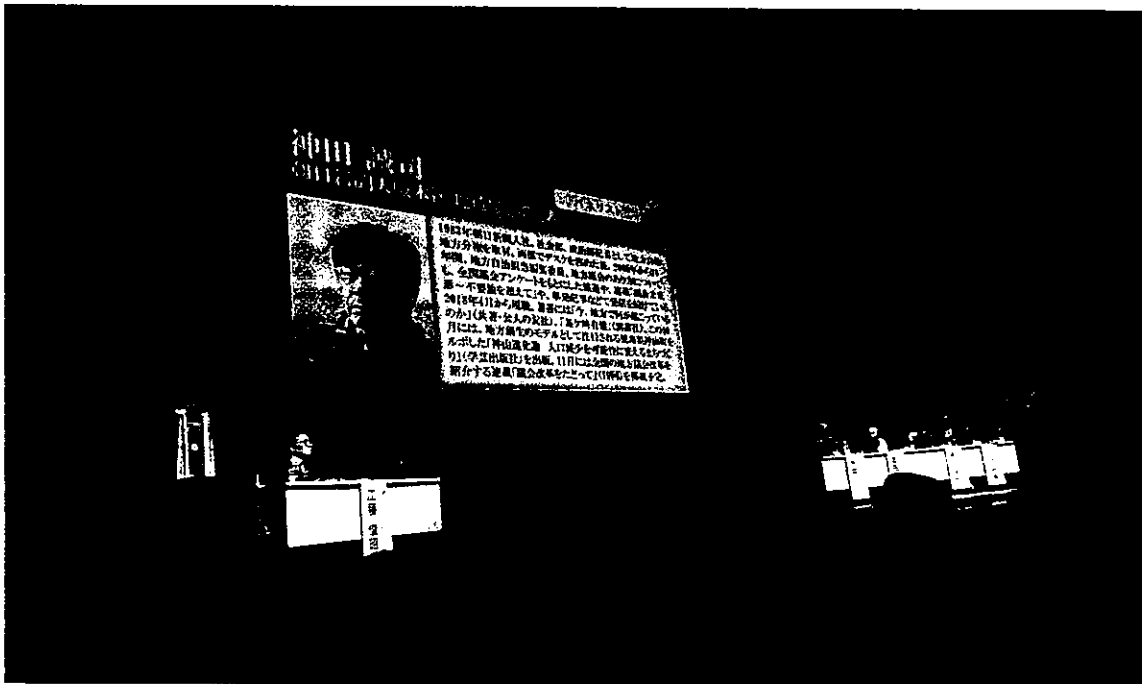
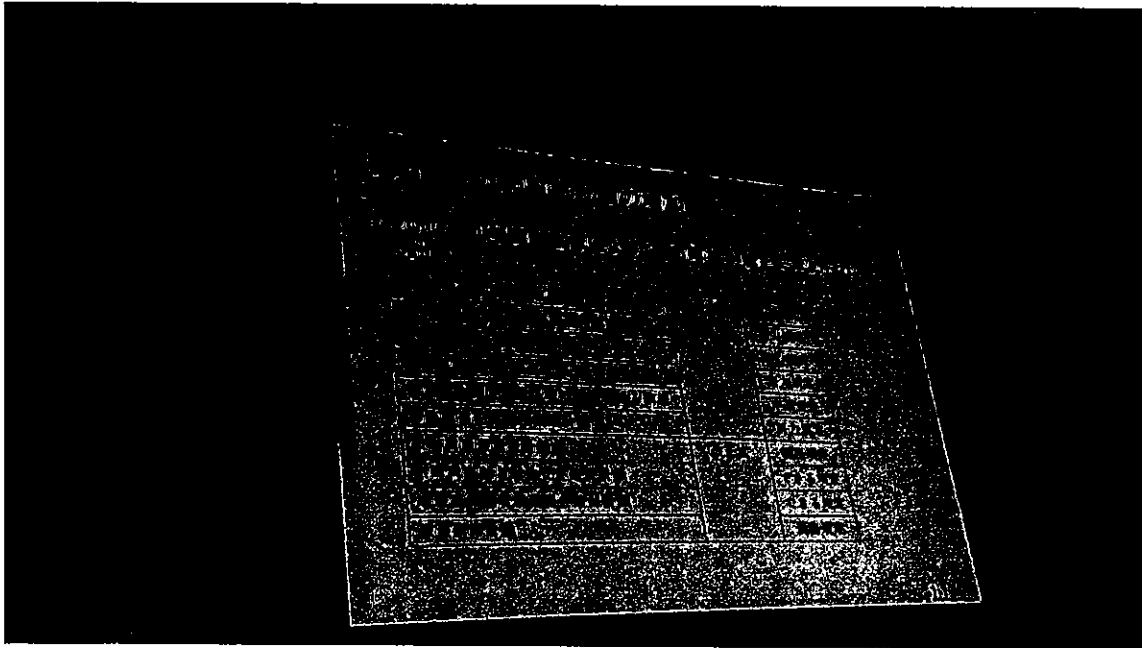
現在は新しい条件のもとで雇用機会が喪失され、消費行動が変わってしまったので今まで通りには地域を支えきれない。

3) 地域住民を保護することではなくて元気にすることが大事である。地域住民が元気になれない理由は何かという、地域内で複雑に絡み合った要因である。

地域を元気にすることが出来ない要因を解きほぐすことができないている場合がほとんどであるが、対応できるのは役所ではなくて地元のみんなであるから、余力のあるうちに働きかける必要がある。

みんなを元気にする福祉とは従来の生活困窮者自立支援制度ではない。縦割りでは元気にできないから横串にする必要がある。

福祉と雇用を繋ぐは雇用が縮小した今では困難なので、地域に中間的就業という形で作っていけないか検討する必要がある。



次に、「議会と住民の関係について」と題して、二日間にわたりパネルディスカッションが行われた。

コーディネーター

江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長

パネリスト

今井 照 (公財) 地方自治総合研究所主任研究員

本田 節 (有) ひまわり亭代表取締役

神田 誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者

小林 紀夫 宇都宮市議会議長

事例報告

桑田 鉄男 久慈市議会副議長

伊藤 健太郎

新潟市議会議員 (新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチーム リーダー)

ピアンキ アンソニー

犬山市議会議長

道法 知江 竹原市議会議長

- 新たな地域の課題。それに住民、議会はどう対応しているか
 - 課題の明確化や解決手法を構想するために住民と議会の関係の現状と課題
 - 統一地方選挙への期待と提案、なり手不足問題
- 久慈市、新潟市、犬山市及び竹原市の事例が報告されました。

終わりに


第13回全国市議会議長会研究フォーラムに参加して、全国的に議会改革に真剣に取り組んでいる現状を学ぶことができました。その中心は、住民に開かれた議会であることと、そのためには情報の公開が欠かせません。真庭市の取り組みは、行政の取り組みも、議会改革の取り組みも決して遅れてはいない事を新たにしました。

平成 30 年度 視察等の届出・報告書 (17~19)

届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
18	11/14~16	緒形尚	入澤廣成・氏平篤 正・柴田正志・(11/16 のみ) 福島一則	栃木県宇都宮市(第13回全国市議会議長 会 研究フォーラム)・埼玉県川越市(重 要伝統的建造物群保存地区視察)

平成30年 11月 13日

真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 緒形 尚 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 ~~調査研究~~ 研修会 ~~要請・陳情活動~~

2 訪 問 先

① 宇都宮文化会館・栃木県宇都宮市明保野町7-66

② 埼玉県川越市幸町2

3 内 容

視察目的

① 全国市議会議長会研究フォーラム・11月14日(水)～15日(木)

基調講演・パネルディスカッション・課題討議・視察

② 蔵造りの町並み・11月16日(金)

重要伝統的建造物群保存地区の視察

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 ~~必要~~ ・ ~~不要~~

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること

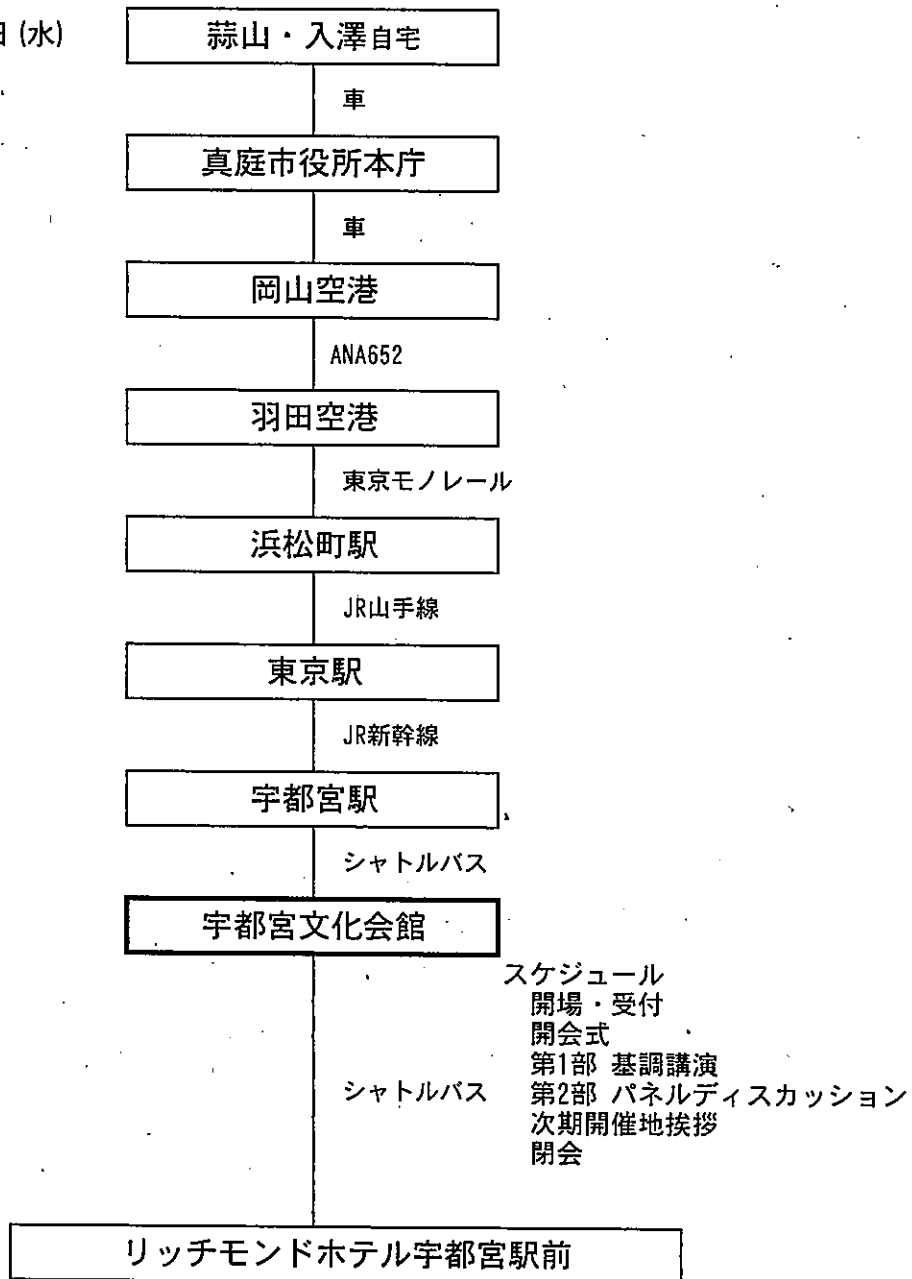


● 参加議員

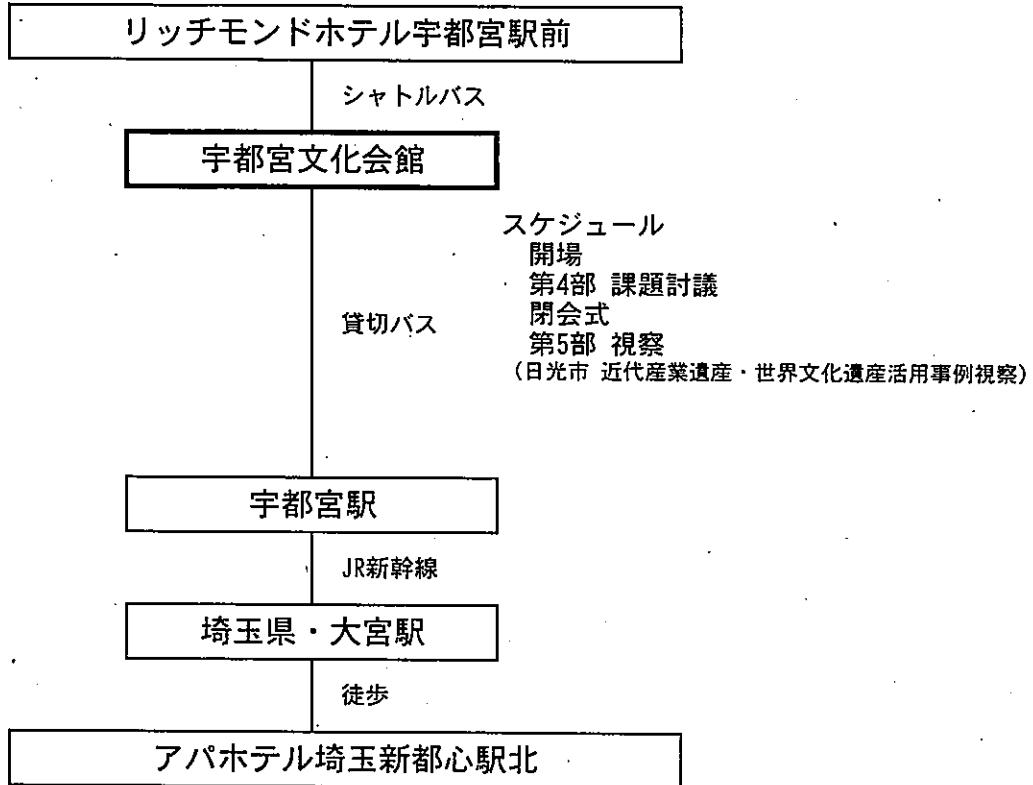
・入澤 廣成 ・氏平 篤正 ・柴田 正志 ・緒形 尚

● 研修会行程表

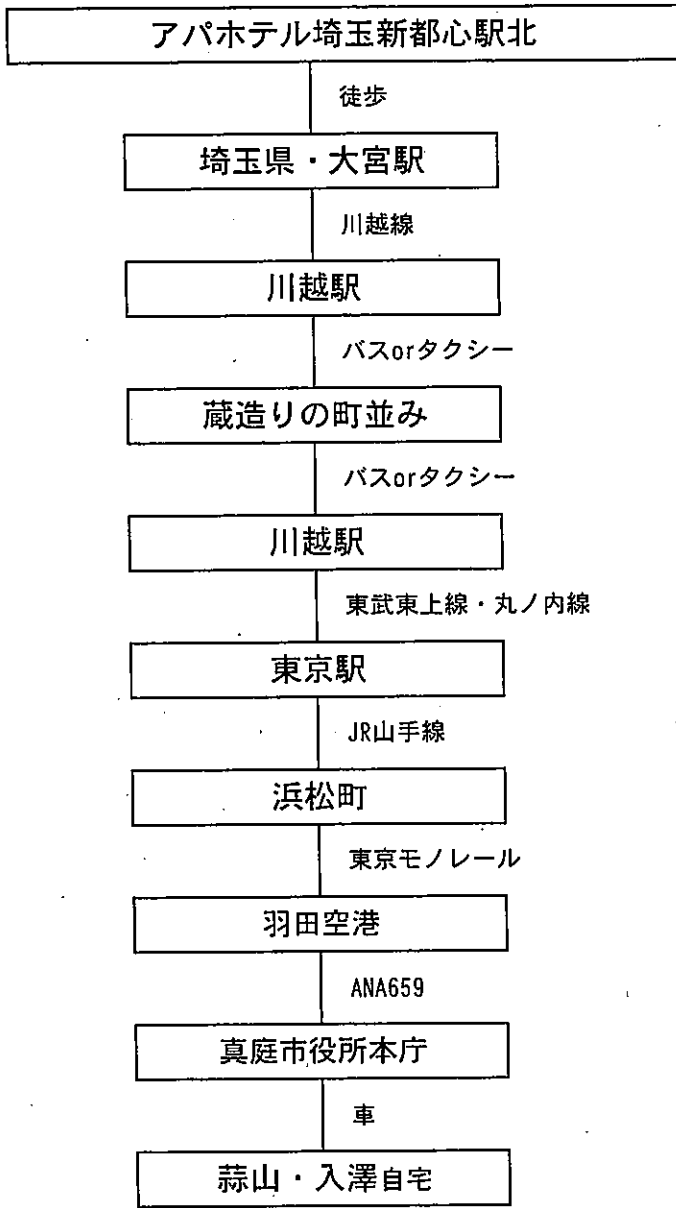
11月14日(水)



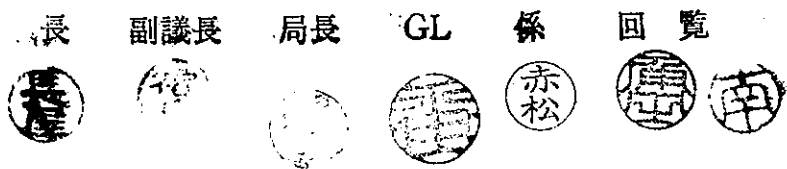
11月15日(木)



11月16日(金)




様式第2号



報告書

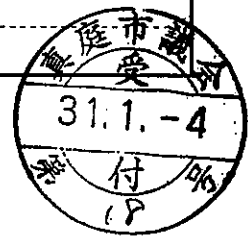
平成30年12月28日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 柴田正志 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 平成30年11月14日 (午前・午後) 5時00分 至 平成30年11月16日 (午前・午後) 22時00分
2 場 所	①宇都宮市文化会館 ----- ②日光市 ----- ③川越市 ----- ④参議院会館
3 用 件	①第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮の講演会・パネルディスカッション・意見交換会・課題討議を通じた研修 ----- ②近代化産業遺産・世界文化遺産活用事例視察 ----- ③川越市昔の町並みの視察 ----- ④石井正弘議員、小野田紀美議員 表敬訪問・意見交換
4 概 要	(参加者) 入澤廣成・緒形 尚・柴田正志・氏平篤正・福島一則 (11/6名) ※詳細は別紙 ----- ----- -----



第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮
平成30年11月14日（水）・15日（木）

■宇都宮市文化会館

■日光市

宇都宮市・・・餃子の町、ジャズの町、カクテルの町、スポーツの町・・・単純明快・・・ダイレクトにまちづくりが伝わってくる都市でした。

その町で全国各地から2300人の市議会議員が集結した研究フォーラムが開催されました。

11月14日

<第1部>

■基調講演（13：20～14：20）

宮本太郎氏

「地域共生社会」をどうつくるか **2040年**を超える自治体のかたち

<現在・将来、日本の状況・課題>

1) 自治体が直面する**2040年**問題、重量挙げ化と漏斗化の日本とは？

①日本人の半数が107歳まで生きる時代が来る・・・定年はターニングポイントさらには中継点になる

②何故、幸福感が広がらないのか？

その理由として

・困窮化・・・就職氷河期世代がそのまま高齢化している（マクロ経済スライドで基礎年金3割減る可能性がある）そして現在86万人の65歳以上の生活保護受給者が2040年には200万人を超えるという見通しがある（将来に対する不安）

・孤立化・・・高齢単身男性は会話頻度も少ない（2週間に1回以下が15% 2017年）
孤立感が困窮感を逆に強める。

（参考）頼れる人がいない・・・男性独居24.4% 女性独居9.2%

家計苦しい・・・男性独居32.3% 女性独居23.9%

③現役世代も力を発揮できない

進学のコストとリスク→雇用不安低下⇒非婚・単身化⇒出生率低下現役世代減少⇒（雇用不安低下）

（奨学金借入平均 313万円 月返済平均17206円）

30代男性 正規雇用未婚率30.7% 非正規雇用75.6%

④支える・支えられるの二分法では重量挙げ社会になる

現役世代と高齢化世代の割合・・・1967年10：1⇒2053年には1.5：1となる（実質的には0.5：1）

1人で2人を支える時代がくる。

⑤漏斗化する日本

地方から若年層が東京に流出。東京では2040年でも2015年の1351万を超えて1376万に。ただし出生率最低、高齢人口90万増のなかの社会増

⑥2040年問題 重量挙げ化と漏斗化が限界点に。地方と東京圏がそれぞれ違うかたちで持続可能性が問われる

地方：高齢化はピークを過ぎるが現役世代がさらに減少する。

東京圏：現役世代の流入で人口規模は維持するが出生率が低く、さらなる高齢化となる。

<課題解決に向けて>

2) ピンチをチャンスに、チャンスを実現にする道

①社会的弱者を認定し保護する福祉から皆を元気にする包括支援と活躍の場づくり・新しいつながりづくりの施策へ移行すべきである

・人口減少社会がもたらすチャンス・・・ピンチをチャンスに変えた自治体とピンチに飲み込まれた自治体が分かれる

※社会保障制度がない時代の方が元気だった。福祉にお金を使っていなかったが元気だった・・・保護することではなく元気にすることが必要である。

②これまでの地域福祉、これからの地域福祉
(これまで)

雇用・・・安定雇用

福祉の目的・・・働けない人を保護すること

方法・・・高齢・障害・困窮などの縦割り

(これからの福祉は・・・)

雇用・・・雇用不安定化

福祉の目的・・・困難を抱えた人を元気にすること

方法・・・縦割りを超えた包括支援・活躍の場の創出

③社会保障支出 (GDP比) はイギリス・オランダを超えたが困窮や孤立を抑制できない日本

<貧困率>

子供 日本14.9 オランダ5.9

女性 日本12.6 オランダ4.6

高齢者 日本19.4 オランダ1.4

④これからの地域づくりの新しい目標「地域共生社会」とは

制度分野ごとの縦割りや支え手 受け手とう関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し地域をともに創っていく社会

3) 困窮と孤立を超えて「誰もが人財」のまちへ

①誰もが人財を目指す生活困窮者自立支援制度の目指されるべきかたちとは？

社会保障・福祉としての高齢者介護・生活保護・障害関連・要保護児童・就労支援・家計改善支援等の保護する施策から一般的雇用をはじめ、ユニバーサル就労などの中間的就労や地域の居住や居場所など自立につながる支援を行う。

(職場の間口を広げ共生の場をつくるユニバーサル就労とは？)

ユニバーサル就労の基本理念・・・様々な理由で働きたくても働くことができない状態にある方でも、本人の個性や意欲に合わせて多様な働き方を作り出し、社会を構成する一員として自らの意思により社会経済活動に参加すること。

業務の分解、切り出しで効率化をはかること

(大阪府豊中市の例) 自治体が企業に仕事の切り出しを働きかける

くらし支援課を中心に無料職業紹介事業：毎年300～400の企業から受けた求人情報をあげて公開せずに扱う

・高齢、困窮、保険収納課などの窓口から紹介された人々について、労働時間、仕事の内容などを企業に同行、個別交渉しカスタマイズする

4) 定年後男性の地域デビュー支援でご当地を「生涯活躍のまち」へ

①定年後男性の地域デビュー支援が大事

②「年金兼業型」就業としての「PPAP」を推進し「ずっと出番のあるまち」へ (PPAPとは？)

P・・・Pension 年金

P・・・Personal Service 福祉関連等 積極的の老々介護 高齢者協同組合

A・・・Agriculture 農業林業

P・・・Professional 技能習得 職人的技能・翻訳・喫茶店経営・社会保険労務士・そば打ち等

③養老サービスから「幼老」サービス、「積極的の老々介護」へ

④ずっと出番のある町は生活習慣病や介護うつ抑制にも効果がある

5) 新しい家族縁や新しい地縁をつくる

①経済成長と人口増は生活満足度を高めたか・・・高めていない 「選べるつながり」が幸福感を高める

②日本の縁は多様であった

③新しい家族縁・地縁・仕事縁は必要縁である

あたらしい縁を作る為の事業を展開する自治体も現れている。

基調講演を聞いて・・・

人口減少、高齢化社会において従来通りの社会保障制度では困窮や孤立を抑制できず、幸せ感を実感できない社会となっている。弱者を選び保護する制度、支える・支えられるの二元化した制度から脱却し、みんなが元気になる施策、制度を考える必要があるという宮本氏の話に共感しました。その為の誰もが人財を目指す生活困窮者へのユニバーサル就労事業や新しい縁の創出事業など、「地域共生社会」というこれからの地域づくりの新たな目標を学び、学んだことを、これからの真庭市の地域づくりに活かしていきたいと思えます。

<第2部>

■パネルディスカッション (14:40~16:40)

「議会と住民の関係について」

<江藤俊昭氏、今井照氏、本田節氏、神田誠司氏、小林紀夫氏>

住民自治の根幹としての議会はどうかかわるのか？議員のなり手不足問題等についてディスカッションがされました。

研究員・記者・議員などのパネリストの中で唯一、地域づくり活動を自ら考え実行されている本田節氏の取組がとても勉強になりました。

(コミュニティーレストラン)・・・熊本県人吉市で農村レストラン「ひまわり亭」を拠点に、人づくり、まちづくりを推進する・・・地域づくり団体「ひまわりグループ」を設立し一人暮らしの高齢者への声掛けを兼ねての弁当宅配ボランティアを始める。(仲間は50代から70代までの20人)生涯現役でもっと生きがいや居場所創りや、地域の役に立ちたいという思いから農村レストラン「ひまわり亭」をオープンさせる。

・補助金に頼るのでなく自主自立を目指す。

・「まっていた定年！60歳新入社員」という考え方で生涯現役による自己実現をはかる。

業務・・・レストランの他に、宅配弁当、イベントへ参加、食のネットワークづくりを行う。助け合い、支えあい、励ましあうという地域づくりを目指し活動中。

「感想」

基調講演にあった地域共生社会を、実現されている取り組みかなと思いました。情熱と使命感を持ち、仲間と楽しく地域づくりの活動をされていて、素晴らしいと思いました。

<第3部>

■意見交換会 (宇都宮グランドホテル18:00~19:00)

1000人以上の市議会議員が参加しての意見交換会へ参加しました。

石川県羽咋市、富山市の議員とテーブルが一緒になり議会での取り組み等を互いに語りました。親交を深めました。

11月15日

<第4部>

■課題討議 (9:00~11:00)

「議会と住民の関係について」

<事例報告・・・久慈市：桑田鉄男氏、新潟市：伊藤健太郎氏、
犬山市：ピアンキ アンソニー氏、竹原市：道法知江氏>

各氏より議会活性化の取組事例の発表がありました。それぞれの議会が住民の代表として住民の意見を聞き、政策に繋げようと工夫し努力をされています。

模擬市議会、議員間討議促進の取組、市民フリースピーチなど斬新な取り組みは参考になりました。

<視察Bコース> 「日光市 近代化産業遺産・世界文化遺産活用事例視察」

■視察研修① (11:30~16:30)

金谷ホテル～日光東照宮

「現存する日本最古のリゾートホテル」登録有形文化財を利用したホテル「金谷ホテル」
※現代建築と違った趣で、重厚感がありました。・・・文化財を利用した取り組み、細かいところまでこだわった調度品、手入れされた庭、古きものを保存し、活かし、それが新鮮な魅力となっています。

日光東照宮・・・ボランティア？ガイドさんがとても知識が深く、ユーモアがあり、親近感がありました。圧倒的な文化財としての魅力以外にも、ボランティアガイドさんの人柄、人間的な魅力が安心感を与えてくれ、素晴らしいと感じました。

川越市視察研修&表敬訪問

11月16日

■視察研修② (9:00~11:00)

(川越市 昔の町並み)

- ・電柱の地中化
- ・シンボルの鐘撞楼がある

- ・ 範囲はそれ程広くない
(川越まつり)
- ・ 川越まつり会館があり山車が展示されている (29の山車があり順番に展示されるということです)
- ・ 川越まつりは2005年に「国指定重要無形民俗文化財」になる。2日間で70万人以上の観光客が訪れる。

「感想」

町並み、お祭り・・・勝山と似ていると思いますが、道幅、整備、すべてのスケールが違うように思いました。

特徴・・・駐車場が見当たらないこと。無人レンタサイクルの施設があること。左右に歩道があること。シンボルの鐘撞楼があること。くつろげる空間があること。観光を生業にしていると思われるお店がいっぱいあること。エリアは思ったほど広くないこと。町並みが平地の中にあること。まつり会館の館内説明者は女性でしたが周りのスタッフはシルバーのように思われました。

■表敬訪問

参議院会館 (13:00~15:00)

石井正弘 参議院議員

小野田紀美 参議院議員

7月豪雨での災害復旧について意見交換をする

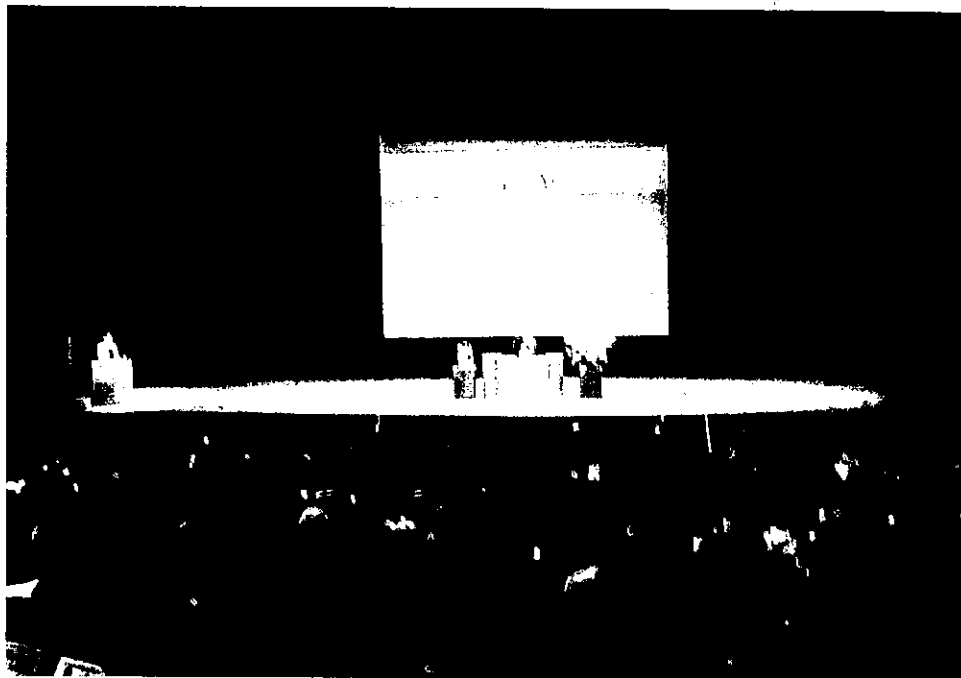
- ・ 浚渫について
- ・ 壊れてから治すという復旧工事のやり方から、予防防災を考慮した河川護岸等の修繕の必要性について

「感想」

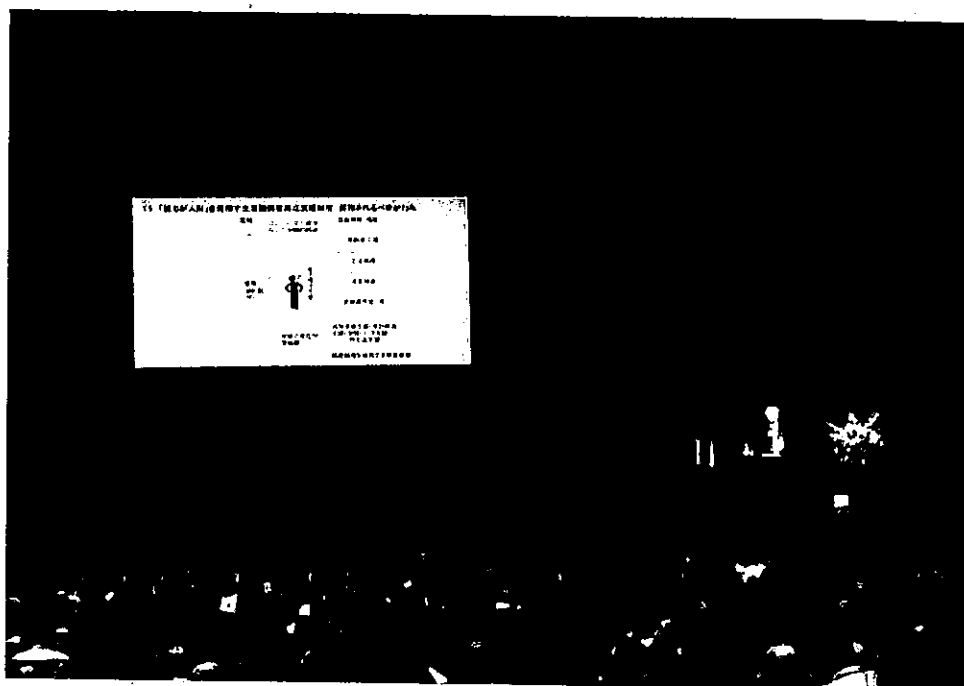
表敬訪問を通じて人間関係。つながりが少しだけ築けたように思われる。



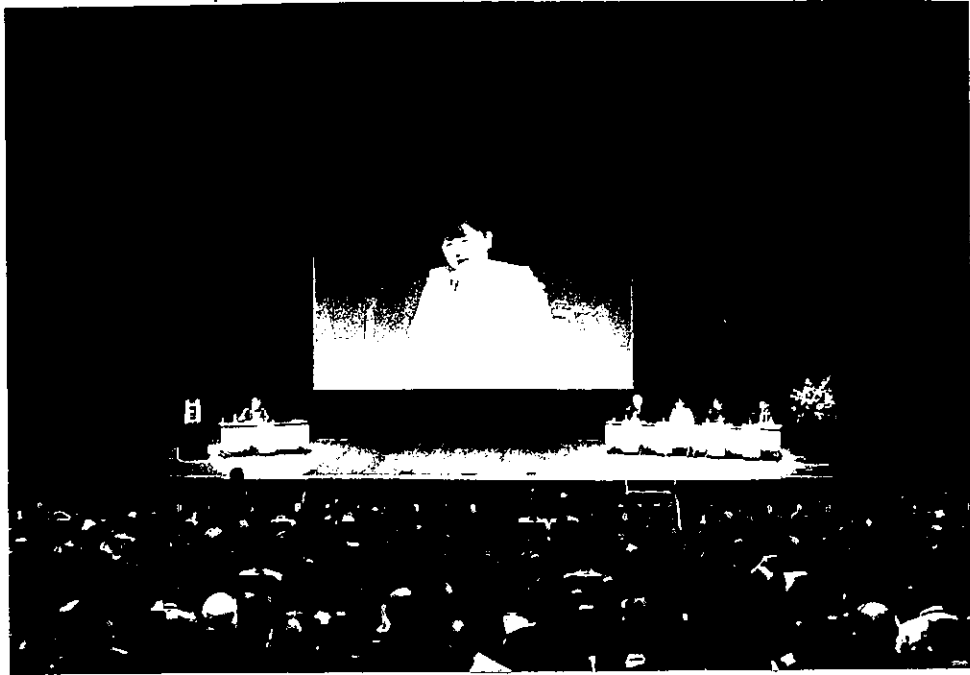
後、若手講員
 と22人が演劇
 を使い、守り節を
 紹介した。紋子と
 カリキとシズのア
 と、といった。



全国市議会議員
 会長の山田一仁
 札幌市議会議員
 のあいさつ。



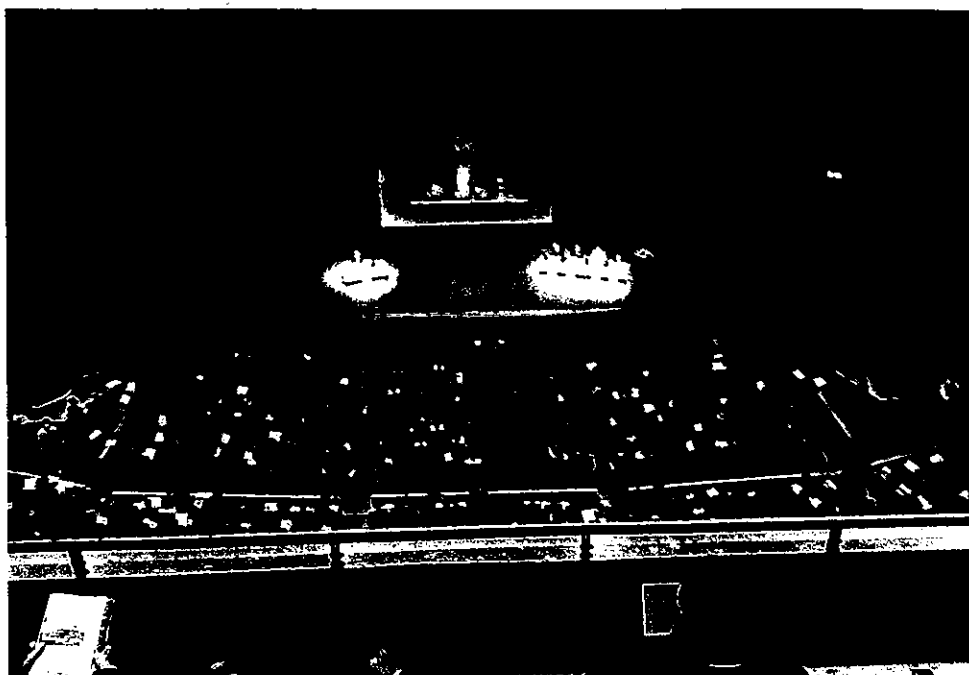
宮本太郎 中央大学
 法学部教授の基礎
 講義。2,300人が
 聴講。



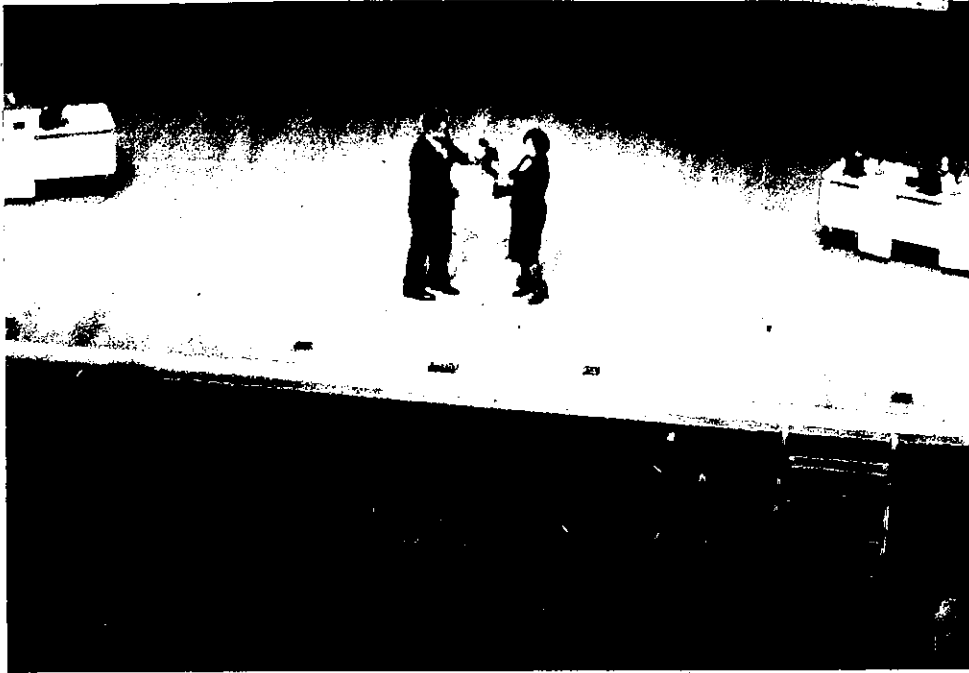
旧の目のハズレ
 カンパシの様子。
 2日目のハズレ
 カンパシがあり、
 2日目はハズレ
 と住民の関係に
 11250



新は高知市で
 坂本龍馬と女性
 義長が会場を
 盛り上げた



2日の朝、ハズレ
 舞台から、不踏に
 内工作。幕居
 あり。



大会最後は宇都宮
から高知市へ大会旗
が渡された。



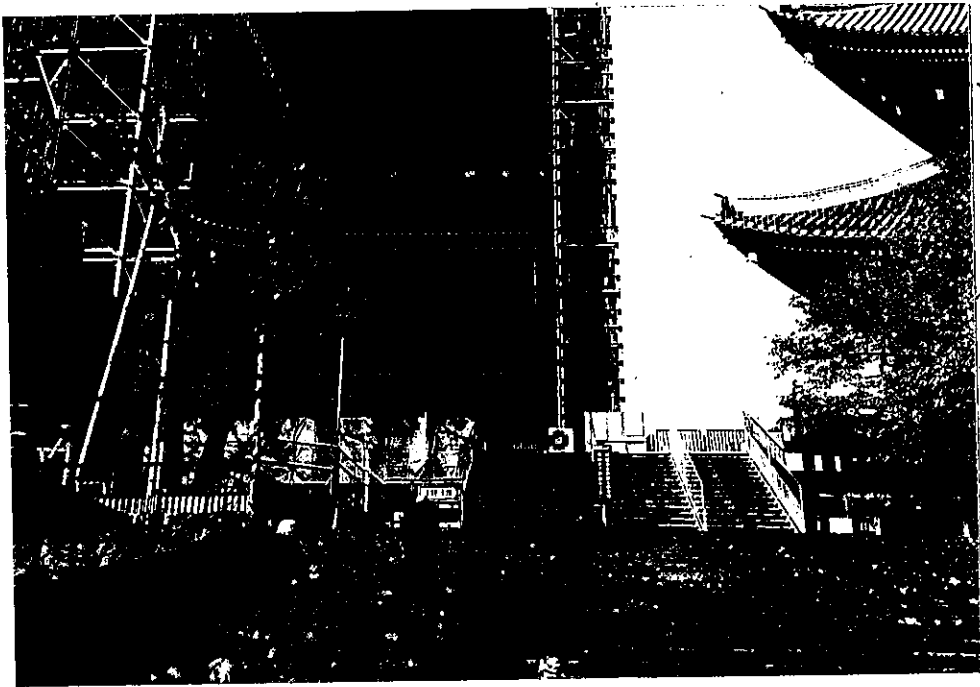
会場前の「救
宇都宮市文化会館
」駅からは徒歩で
1.1kmで宇都宮
駅にみた。



相察先はボス
日光東照宮。屋敷
文化財指定の会館
市立。山の中腹
あり。



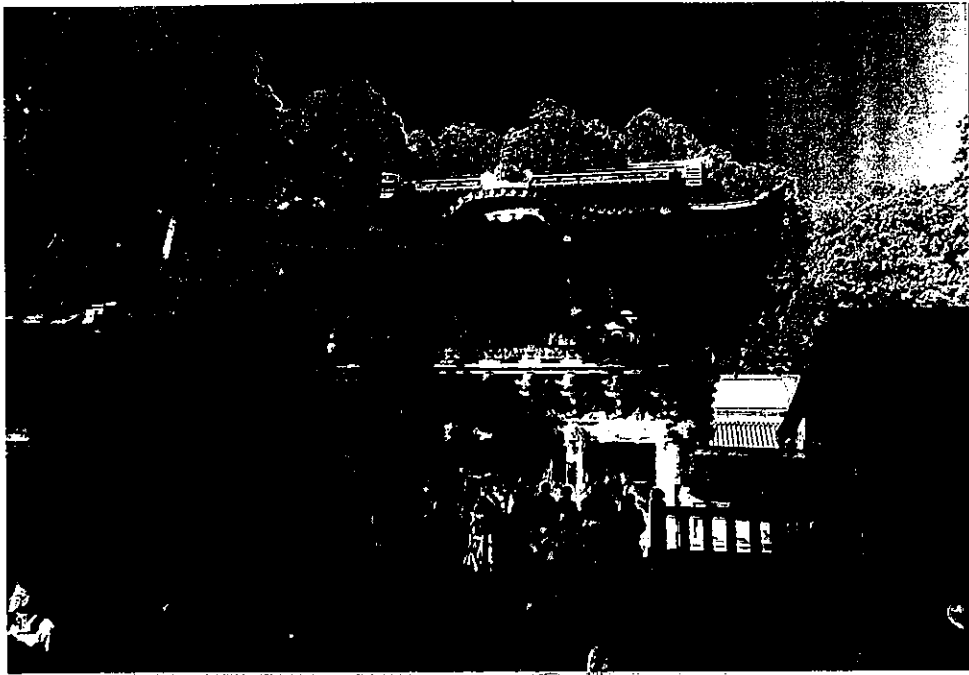
外國の要人が訪れ
 本館に於ては、階
 高小、2階に連想
 せり高層一案内也



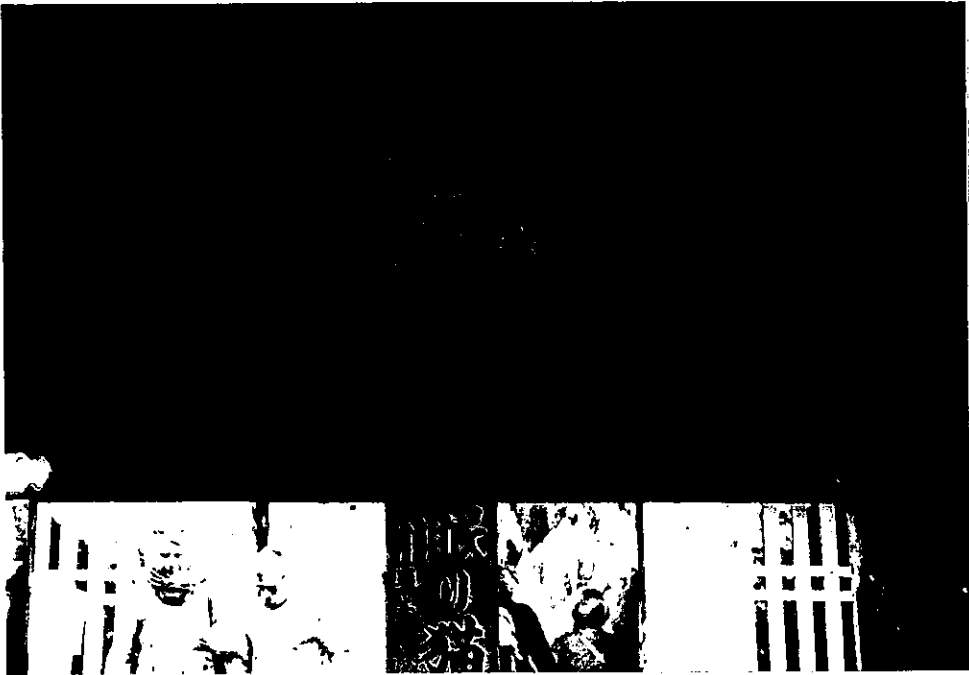
馬車場から港
 に案内して左
 の輪王寺。千手能
 音像があらわ
 若く人がかた
 いる。



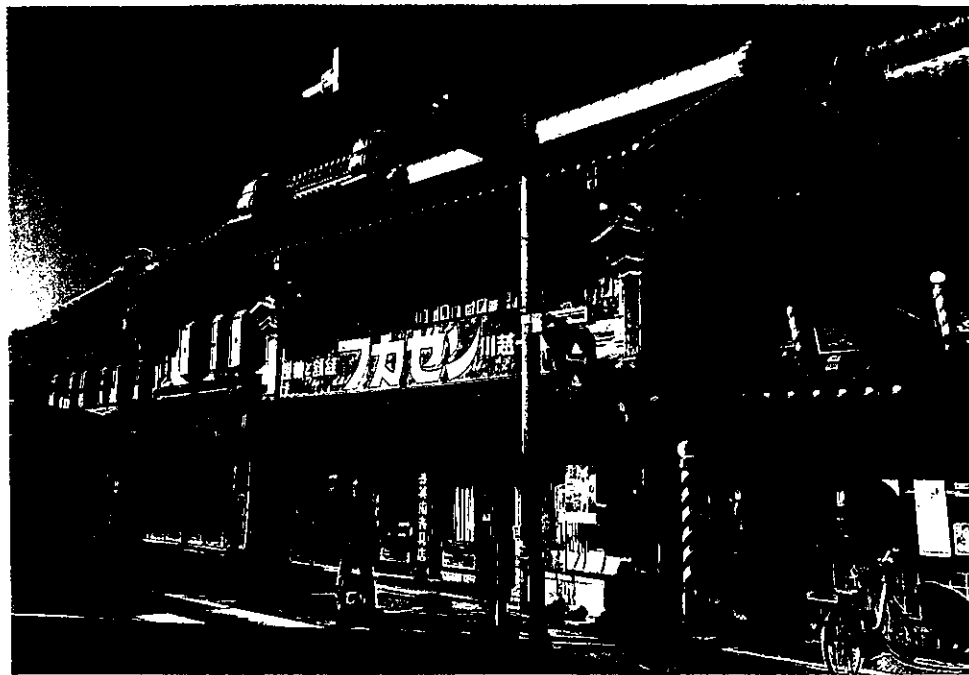
見せる、高くなる。
 障子があつた。二つが
 名であるが、本館
 らはおの位置は
 した日光東照宮
 に世界遺産の
 陳の建物があ



日光東照宮の陽明
門。土日はこの日
子のお客が多い
年向²⁸⁰ ~~250~~ 不~~が~~ 訪
る。まわりに彩色さ
れている。



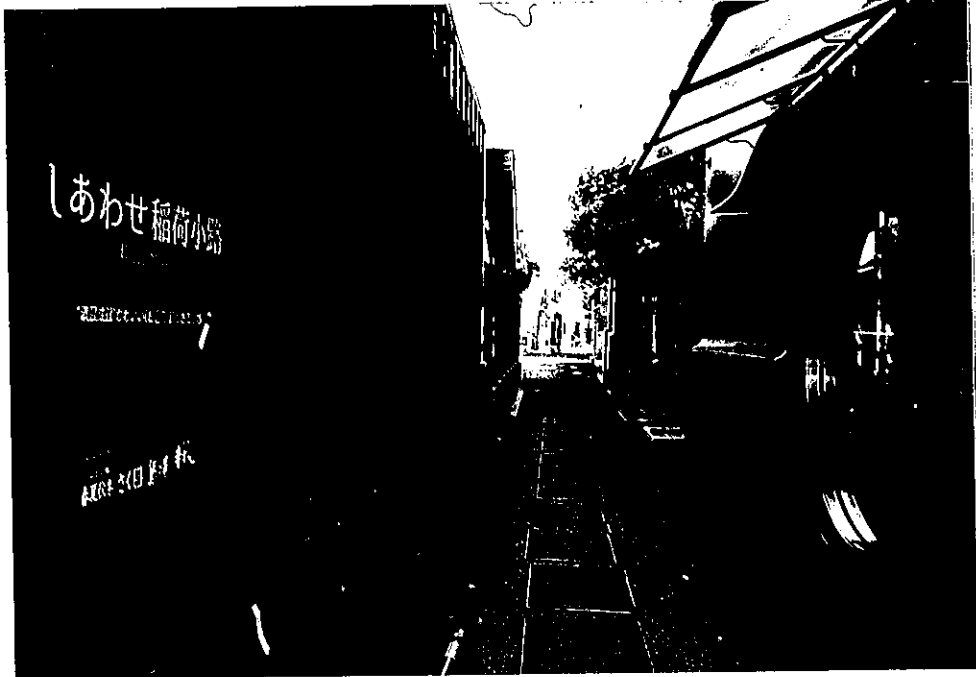
眼川猫。立場所
見る場所と表裏
変化する猫。



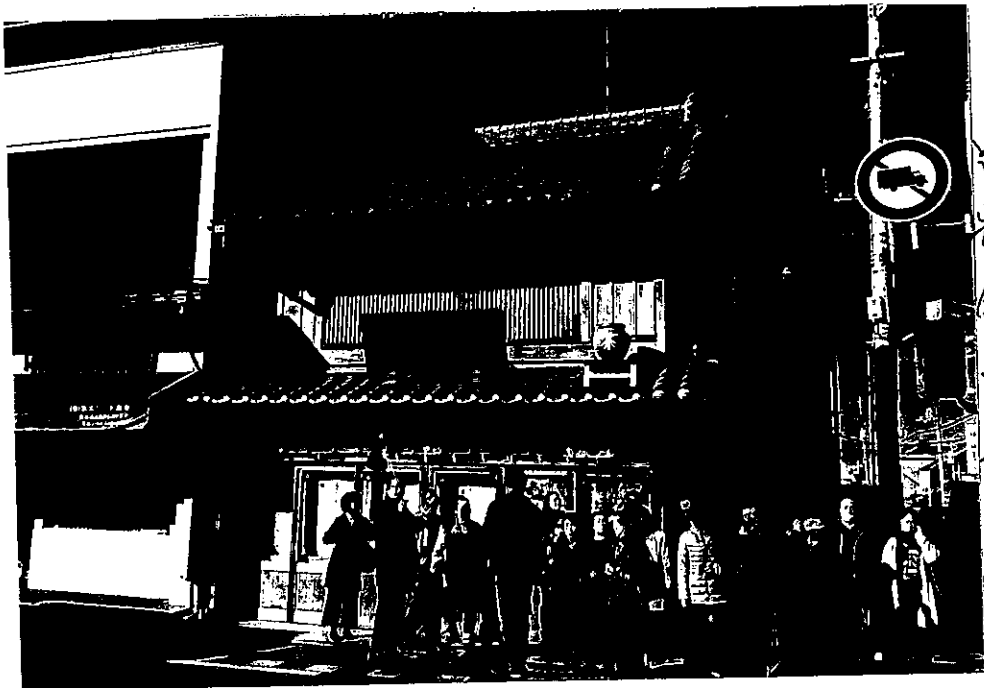
日光の朝日、埼玉
県川越市の街並。
保存地区を調査。
建物が火災で壊
れた。あ、日光と
鬼のまつり。



白川車道の所が本道
つなごの道も石畳
で整備されている
市からの個人家の
補助金はあつた
同utn



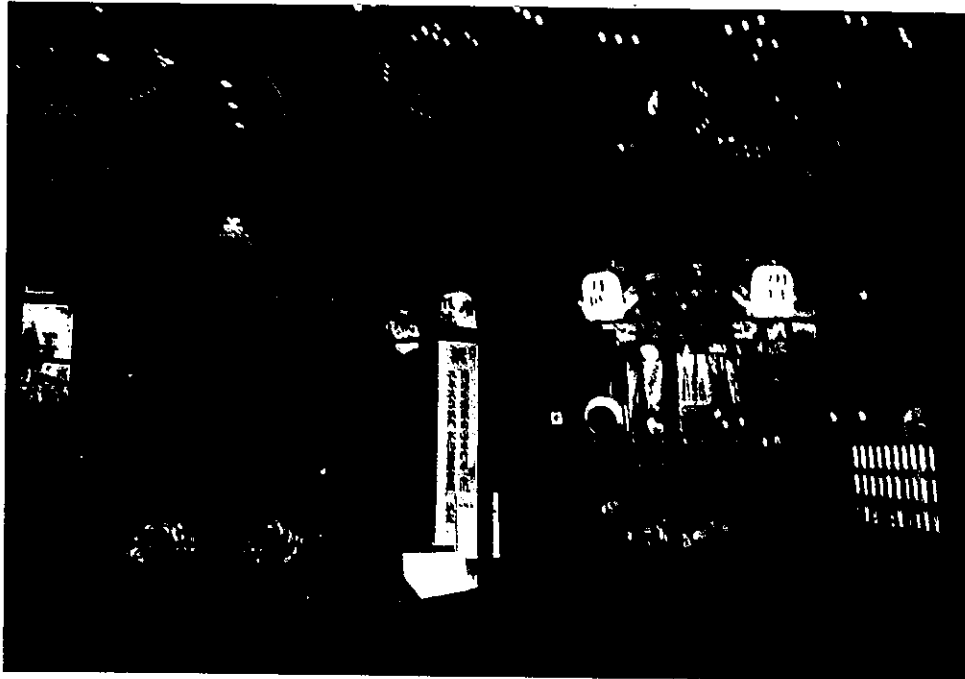
小路が21年
に整備されている
おしあわせある美
術館もある
の錦也幕子屋精
丁もある



10年前に電柱を
道にうつてか
客が増え続
今年も700
が訪れる
福張りもあつた



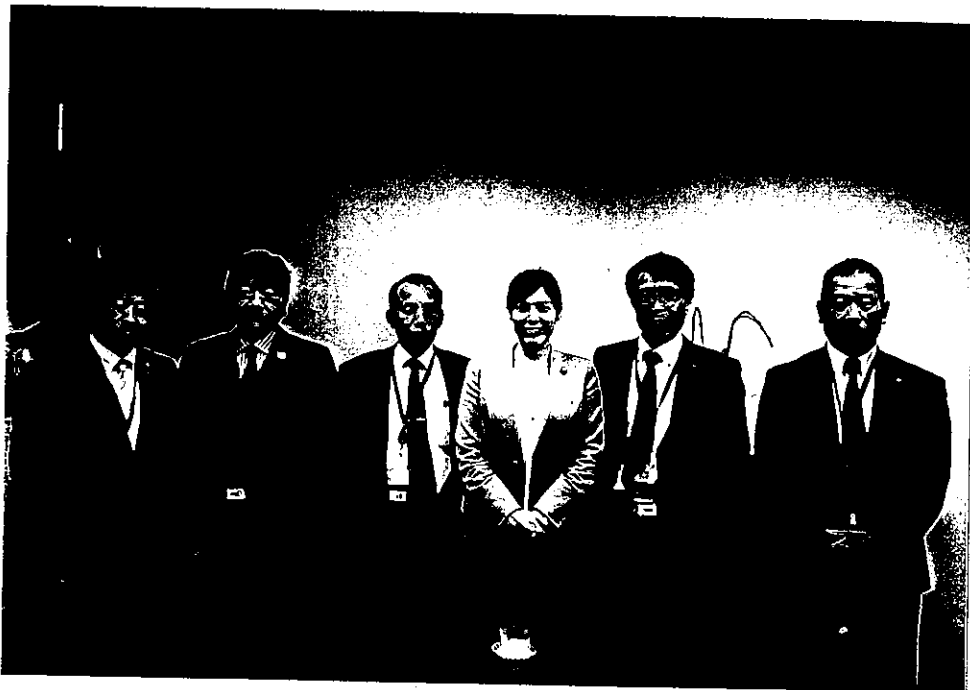
館の中心は川越の
 民俗館がある。
 入場料300円。
 玄関先には市庁前
 の方角



国指定重要無形
 民俗文化財、川越北
 界の山車が展示列
 乙子案内人が付
 24車がまちにある
 町内会が管理



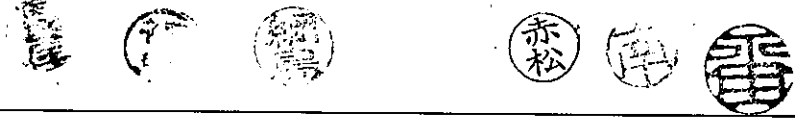
参議院会館で
石井正弘事務長
と日川、備中川の
しんせいの事を中心
に話す。



参議院会館で
小野田生み事務長
と日川、備中川の
しんせいの事を中心
に話す。

平成 30 年度 視察等の届出・報告書 (17~19)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
19	11/24~27	緒形尚		台湾 (台湾ツアー会社との意見交換・現地 視察、旅行社協会幹部との意見交換会、 2018 台北国際旅行博(真庭市出展))



様式第1号

平成30年 11月 22日

真庭市議会
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 緒形 尚 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 ~~研修会~~ ~~要請・陳情活動~~

2 訪 問 先

◎ 台湾視察

参加者 河野慶治 岡山県議会議員

長恒 充 蒜山酪農農業協同組合組合長

池田博昭 (一社)真庭観光局理事

3 内 容

視察目的

- ① 視察：台北市南港展覽館（台湾ツアー会社と意見交換）
- ② 視察：エビ釣り堀・台湾かき氷
- ③ 旅行社協会幹部との意見交換会（乳製品・観光連携等々）
- ④ 視察：2018台北国際旅行博（真庭市も出店）

4 行 程

別紙のとおり 11/24 ~ 27

5 事務局から訪問先への依頼

~~必要~~

不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること

2018年11月24日(土)～11月27日(火)

11/24 (土)	14:00		岡山空港集合		
	15:25	飛行機	岡山空港発 (タイガーエア)		
	17:30		台湾桃園国際空港着		
	18:30	MRT	空港～台北 (ホテルへ移動)		
	19:30		ホテル着 (チェックイン)		
	20:00		交流会①		
		宿泊	台北インペリアルホテル		3泊: 22,906円/人
11/25 (日)	11:00		2018台北国際旅行博 (ITF2018) 視察 (台北市南港展覽館1F)		
			台湾ツアー会社と意見交換会		要調整->11/26に移動
			エビ釣り堀		
			台湾かき水		
	18:00		交流会②		
		宿泊	台北インペリアルホテル		
	11/26 (月)	未定		旅行社協会幹部と交流	
14:30-16:00		車	九份へ移動		
16:00			九份商店会と意見交換会 (観光連携他)		調整済み
17:30-18:30		車	九份-台北市内へ移動		
19:00			交流会③旅行社協会幹部		時間/場所等調整中
		宿泊	台北インペリアルホテル		
11/27 (火)		8:30	MRT	台北～空港	
	9:30		台湾桃園国際空港着 terminal2		
	15:00	-	台湾桃園国際空港着 terminal2		
	11:10	飛行機	空港発 (タイガーエア)		
	14:35	-	岡山空港着		

議長

副議長

局長

GL

係

回覧



報告書

平成31年 3月 29日

報告者 議員氏名 緒形 尚



下記のとおり政務調査費を使用して 研究研修 ・ 先進地調査 をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成30年 11月24日 (午前・午後) 12時00分 至 平成30年 11月27日 (午前・午後) 18時00分
2	場 所	台湾視察 ① 台北市：国際旅行博、旅行会社、旅行社協会 ② 新北市：九份
3	用 件	① 台湾ツアー会社と真庭市への旅行企画の意見交換 2018年台北国際旅行博視察 (真庭市も出店) ② 九份商店組合との意見交換 (交流事業等々)
4	概 要	詳細は別紙にて報告



台湾視察

① 参加者：河野慶治・岡山県議会議員

長恒 充・蒜山酪農農業協同組合 組合長
池田博昭・(一社) 真庭観光局 理事
緒形 尚・真庭市議会議員

② 視察報告書

岡山県観光課の調査によると、岡山県における外国人旅行者宿泊者数は6年連続で増加しており、平成29年度は過去最高の約32万4千人を記録している。

また国・地域別では、5年連続で台湾が最多となっている。

平成29年に岡山県に宿泊した台湾人は106,949人。対前年比178.1% (60,053人)、構成比は33%となっている。平成27年度と平成28年度を比較しても、39,309人から60,053人へ150%以上の伸びを見せている。2位の中国人は47,040人 (対前年比119.6% 39,331、構成比14.5%)、3位の香港人は46,398人 (対前年比115.6% 40,133、構成比14.3%)、4位の韓国人は40,993人 (対前年比237.6% 17,256、構成比12.7%) となっていて、近隣のアジア諸国からの宿泊者数が伸びていることがわかります。

また、台湾人観光客増加の要因はタイガーエア台湾の就航にもあると思う。

平成28年7月に岡山空港としては初となる格安航空会社(LCC)となる岡山-台北線(タイガーエア台湾)が週3往復で就航し、その後も4度の増便を重ね、平成30年3月にはデイリー運航になっていて、これが平成28年、平成29年と台湾人観光客が増加した大きな要因だと考えられる。

岡山県は平成29年7月に、宿泊施設などが外国人客への対応に困った際に電話で通訳を代行する「多言語コールセンター」を開設している。

また外国人観光客には欠かせないフリーWi-Fiの利用エリア拡大なども行うことで、リピーターの確保に力を入れている。

今後も、国による観光施策や、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博など大規模イベントが控えていることを踏まえれば、訪日外国人は増加していくことが予想される。

その中で、いかに岡山県に真庭市にインバウンド誘客の取り組みを行うかが大きな課題と思われる。

今後の真庭市が、いかにインバウンド誘客の取り組みを行い観光振興に繋げるか？ 大きな課題をもって、台湾視察に望んだ。

今回の台湾視察の大きな目的は、二つある。一つ目は、インバウンド誘客による観光振興の具体的取り組み、二つ目は、乳製品等々の台湾への販路拡大である。観光振興については、台湾観光協会主催『ITF 台北国際旅行展』が11/23～26日まで4日間台北南港エキシビションセンター(台北南港展覽館)で行われた。旅行展への主な出展はエアライン、そしてツアー会社が多く、日本各地から多数出展されていた。ITF 台北国際旅行展では、普段よりもお得な値段でツアーへの申し込みや、割引があり、ブースによって最終日はさらに商品価格を下げるので、最終日は来場者数が多くなると聞いた。ITF 台北国際旅行展の入場料は、先行チケットはNT\$180(650円)、当日券はNT\$200(720円)となっている。

ITF 台湾旅行展の『ITF』とは、International travel fairの略。そんな『ITF』実はアジア太平洋地域で最も人気のある旅行展であり、台湾では最大規模の旅行展示会として知られている。昨年までは当オフィスがある世界貿易センターで開催していたが、今回のITFはさらに規模が大きくなったため、場所も南港展覽館での開催となり、展示会への来場者数は、4日間の合計で37万6000人昨年に比べ2.6%上がり、最高入場者数を記録したそうです。他にも、60か国の国と地域からの出展、合計1,700のブースが展示されていて、真庭の観光資源のPRをして回った(観光パンフレットは配れたが、真庭市の観光動画があれば効果も倍増すると感じた)

台北市内の旅行会社3社(コーラツアー・Cola tour、ラミーゴ・Lamigo、喜遊網・joytour)台北市旅行商業会社を訪問し真庭市のPRをした。湯原温泉の動画を見ていただき意見交換を行った(ドローンで撮影した湯原温泉の四季の動画)

旅行社の方が言うには、3日以内の短期滞在は少なく、4～6日間滞在する台湾人が約75%を占めている点が特徴で、比較的、リピーターが多いため、大都市以外の地方を訪問し数日間滞在するような訪日客が多いことが最近の傾向だとのことでした。岡山への旅行を考えると、岡山空港を利用し、後楽園から倉敷美観地区への観光、その後、関西方面か広島方面もしくは四国方面への旅行企画が多く、岡山県南から県北への旅行企画は企画が難しいとのことでした。

そこで、岡山空港を利用し、後楽園から倉敷美観地区、その後、真庭市

へ移動して宿泊、真庭市内の観光資源を見て山陰に抜ける旅行企画の提案をした。全ての旅行会社は、真庭の四季（桜・紅葉・雪）には魅力を感じるが、もう一つシンボリックな物があれば真庭から、出雲大社や鳥取砂丘などの山陰に抜ける企画は立てやすいし、旅行者からの魅力にも繋がることのであった。何か、大きなシンボリックな投資を考える必要性を感じた。現状、真庭の観光入り込み客数は、2012年から2018年を考えると103万人の減少であり、特に蒜山高原で90万人、湯原温泉で8万人の減少で、合わせて98万人の減少で真庭市全体のほとんどを占めている。今、インバウンド誘致を含めて観光振興に力を入れないと明日の真庭の観光はないと思う。市も、外国人宿泊数を2017年4,800人から2021年には10,000人を目指している。台湾からの更なる集客を目指しインバウンド先進地になるように取り組んでいく必要を感じた。ドローンを活用した真庭市の観光動画を作成し、再度、台湾の旅行会社に売り込みを計画している。

乳製品の販路拡大についても、地元の関係者との意見交換を行った。乳製品については、台湾国内では牛乳需要量の3割をニュージーランド産など輸入ものでまかなっていて、味も日本の牛乳より概して薄いものが多いという。脂肪分が多く味も濃厚な牛乳は、台湾でも評価が高く販路拡大に繋がる感じを受けた。しかし、牛乳の鮮度保持が課題である。無菌状態で充填され賞味期限が90日程度で常温保管も可能なLL牛乳を北海道から輸出しているが、普通の牛乳はコクや風味でLL牛乳に勝る反面、一週間から10日と短い。食品輸出では、通関手続きに一週間以上かかるケースもあることから低温貯蔵など幾つかの鮮度保持技術を検証しながら台湾の食品衛生基準に合わせた輸出を検討する必要がある。将来的には、牛乳輸出を通じて真庭のブランド力を高め、チーズなどの乳製品の販路拡大に繋がりたい。課題はあるが可能性を感じた。

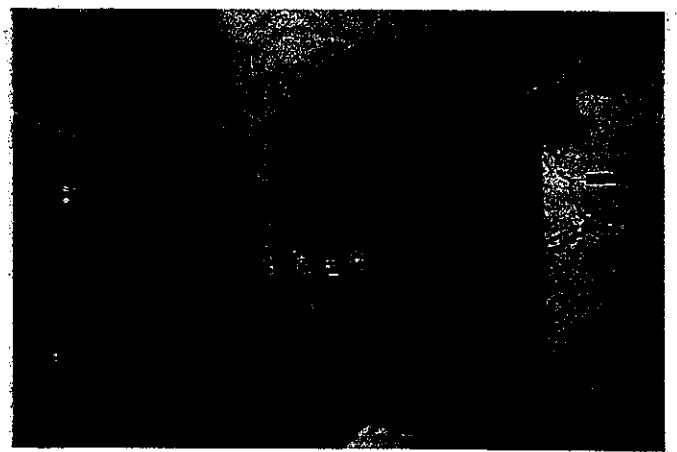
台湾を代表する観光地・九份、「千と千尋の神隠し」のワンシーンに出てくる街で、年間1,000万人の観光客が訪れている（日本人観光客は200万人）九份商店会組合の方とのアポが取れて組合に伺う。名刺交換ができればと思って伺ったが、許理事長をはじめ6名の役員の方が集まっていた。ただ意見交換させていただいた。途中、新北市瑞芳區公所・陳區長（真庭市長を同職）も駆けつけくれた。想像以上の大歓迎を受けた（提灯の点灯は、17時30分であるが、我々に提灯の灯ったところを見せたいとのこと。17時に灯した。多くの観光客は、予定より早い点灯に大はしゃぎで、記念写真を撮ったり動画を撮っていた。真庭市との交流に繋がりたい旨、お

話しと動画を見ていただく(ドローンにて撮影した湯原温泉の四季の動画)大変好評で、真庭との交流を積極的に考えたいとの意思表示があった。次回、議員有志で真庭と九份との交流の話をまとめるために改めて九份に伺うことで話がまとまった。その後、民宿や商店街のお店を視察させていただき、最後に副理事長のお店で台湾料理を振る舞っていただく。

河野県議を含め、真庭市議会有志で改めて台湾を訪れ、真庭と九份との交流を進めること、また乳製品の販路拡大を目指すことを目的に台湾視察を行ったが、今後の交流を含め大きな成果を持ち帰れたことが今回の視察でのお土産となると思う。



2018 台北国際旅行博



2018 台北国際旅行博



エビ釣り



旅行会社打ち合わせ



旅行会社打ち合わせ



集合写真



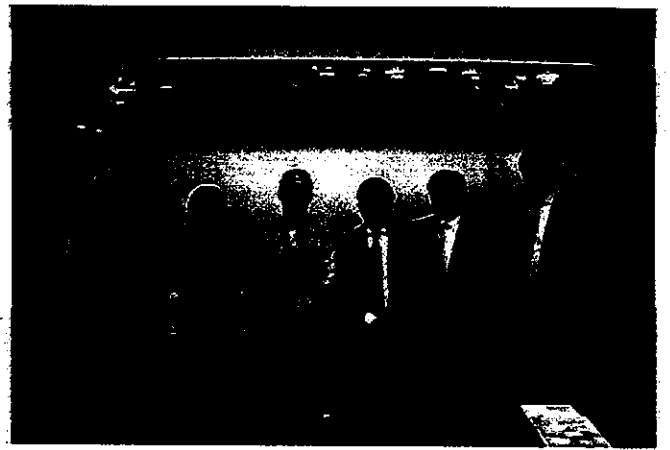
旅行会社打ち合わせ



旅行会社打ち合わせ



Lamigo 集合写真



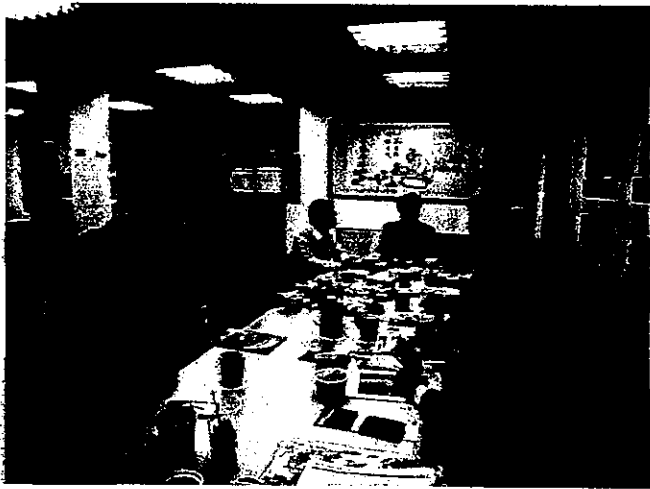
旅行会社組合 集合写真



九分商店街



九分商店街



九分商店街打ち合わせ



九分商店街打ち合わせ



九分商店街 集合写真



九分商店街